

**臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同  
出生・発達分科会（第26期・第12回）  
議事要旨**

1. 日 時 令和6年10月16日（木）9:30～10:30

2. 会 場 オンライン会議（zoom）

3. 出席者（五十音順）

高橋尚人、（以上、会員）

武藤香織、米村滋人、石崎優子、島 蘭 進、柘植あづみ、船曳康子、水口 雅、水野紀子（以上、連携会員）

4. 議事録作成者 高橋 尚人

5. 議事概要

武藤香織連携会員より、「胎児超音波検査に関する調査研究を中心に」のタイトルで、最近取り組んでいる研究を中心に話題提供をしていただいた。冒頭で武藤連携会員が所属する東京大学医科学研究所と理化学研究所の研究チームの紹介から、現在進めている研究項目として「萌芽的技術や実装済の技術の倫理的法的社会的課題」「研究への患者・市民参画と研究参加者の貢献の可視化」「被害者／少数者を対象とした研究の倫理」「政策上の必要に応じた課題への取り組み」を提示していただき、大変幅広い内容に取り組んでいることを説明していただいた。

その後、この分科会に深く関わる「生殖・周産期に関わる ELSI の検討のための研究」の進捗について解説された。その中で、胎児超音波検査の実態調査について、アンケート調査、インタビュー調査を行なったその結果を詳しく報告していただいた。この分科会での今後の議論に対して、「胎児」期から始まる ELSI という側面で大変重要な内容の発表であった。

以上